

Book Fan Newsletter

発行：平成25年3月15日
編集：塩尻市立図書館
0263-53-3365
(Book Fan Newsletter 9号)

書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本



『テーブルマナーの絵本』

高野紀子（著） あすなろ書房（出版）

知っておきたい和食・洋書・外食のマナーがたくさんイラストで紹介されていて、小学校高学年からは一人でも、またそれまでは親子でじっくり楽しめます。

箸（はし）の持ち方や魚の骨のはずし方にはじまり、食に関係した内容も豊富で、四季折々を味わう日本人の感性や食材、行事の紹介がされていて、大切なものに気づかされる一冊です。

神田堂 大塚さん

『おべんとうバス』

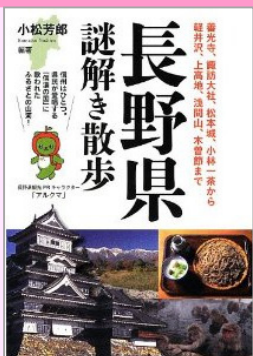
真珠まりこ（著） ひさかたチャイルド（出版）

お馴染みのおべんとうの食べものたちが、お返事をしながら次々と赤いおべんとうバスに乗り込んでいきます。

食べるのが大好き、乗り物が大好きなこどもたちにはぴったりの絵本で、「〇〇さーん」、「はーい」という言葉が繰り返してできるのでお返事の練習にもなって親子のスキンシップもはかれる楽しいお話です。

絵もカラフルで可愛くて、ストーリーもシンプルなので赤ちゃんからでも充分、楽しめると思います。

興文堂 中沢さん



『長野県 謎解き散歩』

小松芳郎（編著） 新人物往来社（出版）

テレビで取り上げられる事も多い、県歌「信濃の国」。歌詞に込められているのは、ふるさとの山河。そして「信州はひとつ」という強い願いだった。長野県の歴史、食文化や産業など意外と知らない信州のなぜ？を集めた一冊。この本を読めば、長野県の魅力を再発見。ますます、ふるさが好きになる！？ 県の観光PRキャラクター「アルクマ」が目印です。同シリーズで他の都道府県版も続々刊行されています。気になる県があったらぜひご注文を！！

丸文書店 金子さん

『何者』

朝井リョウ（著） 新潮社（出版）

直木賞受賞の本作は、就活真っ只中の大学生らの日々が、リアリティたっぷりに描かれています。

「何者であるか」という問いへの確たる答えを自身に与えたい、与えなければ負けだと焦燥感に襲われながら社会の入り口に立つ彼らは、本音と建前の波に、はかなげに漂い続けます。

「とくに社会人」の大人たちには、程よい距離感で自分を見つめ直せる一冊です。

中島書店 小野さん



『狼の群れと暮らした男』

ショーン・エリス+ペニー・ジューノ（著） 築地書館（出版）

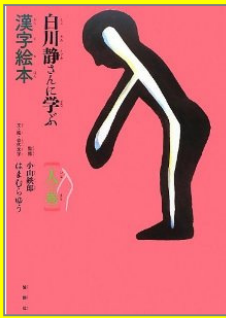
ロッキー山脈に生きる野生狼（おおかみ）の群れに、現代人として初めて受け入れられた男の二年間に及ぶ共棲（きょうせい）記。

野生狼の生態を明らかにし、狼はなぜ人間を受け入れたのか？ 狼の一員になるとはどういうことなのか？ 明快な答えが記されています。

本書は動物も植物もすべて自然の摂理に従って存在すること、古来日本人の万物の中に神が宿るとした心の確かさを教えてくれます。

中島書店 中島さん

書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本
書店員が選んだ今月のおすすめ本



『白川静さんに学ぶ漢字絵本 人の巻』

はまむらゆう (文・絵) 論創社 (出版)

漢字は、人や物の形、動きなどから成り立ってきました。この絵本は、運動会をテーマにしたお話とダイナミックな絵で、漢字の仕組みを教えてください。絵の中に、漢字だけでなく、遊び心で猫とお相撲さんも隠れているので、こちらも探してみてください！

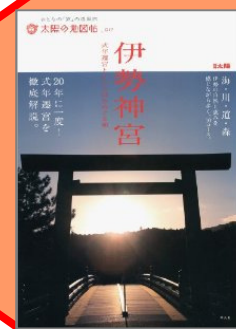
児童言語分野担当

『伊勢神宮 式年遷宮と 125 社をめぐる旅』

平凡社 (出版)

今年の秋は 20 年に一度の式年遷宮の時期にあたります。この機会に伊勢神宮について学んでみませんか。本書は、豊富な写真付きで、伊勢神宮独特の空気や、その深い緑に囲まれた静けさまで伝わってくるかのようです。ガイドブックとしてもご利用いただけます。

哲学分野担当



『幕が上がる』

平田オリザ (著) 講談社 (出版)

大人になる一つの過程を演劇に費やす高校生の物語です。

夢中になれる、好きだと言えるものを見つけられること、それに全力を注げること、そして、共有できる仲間がいるということ。そんな、幸せな青春時代を味わってみてください。

若葉コーナー担当

『こういうとき どうするんだっけ』

辰巳渚 (著) 毎日新聞社 (出版)

眠いし、だるい月曜日。すごく怒られて、心が苦しい時。みんなはどうしているのかな？

学校や親に決められたルールじゃない、ステキな大人に近づくための、自分だけのルール、「マイ・ルール」を持ってみませんか？

児童 哲学分野担当



『まるごと日本の道具 学研もちあるき図鑑』

面矢慎介 (監修) 学研教育出版 (出版)

生活・学校・仕事・遊びの中で、私達が日常使っている道具、1000 種類をイラストとともに紹介しています。使い方や特徴、歴史についても知ることができます。用途別にコラムや昭和時代の風景もあり、大人も子どもも一緒に楽しめます。このシリーズは、季節・食材・生きものも出版されていますので、こちらも楽しんでみてください。

児童社会科学担当